

若者を対象とした
小型船舶への理解促進活動
[首都圏]

報 告 書

平成26年8月

公益財団法人 海技資格協力センター

目 次

I	小型船操縦資格に対する若年者の状況	1
II	若者を対象とした小型船舶への理解促進活動	
II-1	活動の概要	2
II-2	活動の状況	6
III	若者を対象とした小型船舶への理解促進活動の今後の方向性	
III-1	今回の活動の成果	23
III-2	今後の活動の方向性	23

I 小型船操縦資格に対する若年者の状況

I-1 若年者の小型船舶操縦資格の現状

我が国は、四面海に囲まれた海洋先進国であるにも関わらず、小型船を操縦できる者は、160万人程度で人口の約1%強に過ぎず、国民と海との結びつきの希薄さを示している。このように、小型船を操縦できる資格が国民の間に普及していない最も大きな要因となっているのが、小型船操縦資格に対する若者の参加が極めて低いことである。

公益財団法人海技資格協力センター（以下「センター」という）による2010年の「小型船舶操縦士免許保有実態調査」、2013年の「小型船舶操縦資格普及のための検討会報告書」等をもとに推定すれば、小型船舶操縦資格者のうち20才代の保有割合は全体の5%程度、20才代の若者全体に占める有資格者の割合は0.5%程度に過ぎない。他方、自動車の運転免許の場合、20才代の保有割合は15%程度、若者全体の85%までもが免許を保有している。このように、小型船にあっては若者の参入が極めて低い。

中でも、18～24才の若者にあつては、自動車の場合、年間その10人に1人が普通免許を取得し、年間の全取得者の85%がこの世代で占められおり、運転免許の国民化、大衆化の原点となっている。他方、小型船の一般的な操縦資格といえる2級操縦免許では、18～24才までの若者のうち年間に取得するのは2500人に1人であり、年間の全取得者の17%に過ぎない。このように、小型船にあっては、若者のうちでも25才未満のより若い層の参入が特に遅れているといえる。

しかも、小型船舶操縦資格保有者数は、2003年の185万人をピークに年々減少傾向にあり、このままでは10年後には130万人程度に縮小する見通しにある。この減少傾向に歯止めをかけ、そして、その回復を図っていくには、参入が遅れている若年層に対し、操縦資格の取得を進めていくことがどうしても必要である。

他方で、若者のレジャー離れの傾向は、(公財)日本生産性本部が毎年発行している「レジャー白書」においても、2008年の時点で、「特に10代の若年層を中心に余暇活動の“絞り込み”の傾向がはっきり見られた。若年期の余暇経験の貧困化は、この層の中高年期における活動低迷につながる恐れがあり、将来の余暇需要のいっそうの縮小が懸念される」との指摘がなされている。

このように、若年、なかんずく25歳未満の若者の小型船舶操縦資格への参入拡大を図っていくことが、長期的にも小型船舶操縦資格普及への鍵となり、国民と海とがしっかり結びついた真の海洋先進国となることにつながっていくことになろう。同時に、若者が操縦資格を取得し、海に積極的に取り組んでいくことは、その健全な肉体と精神を培ううえで、極めて意義あるものとなろう。

若者に対する操縦資格の普及に向け、関係機関一丸となり、早急に取り組んでいく必要がある。

I-2. 若年者の小型操縦資格取得率の向上への取り組み

そこで、当センターにおける標記取り組みについては、関係機関の協力のもとに、若者に対する認知度向上のための周知広報に重点を置くこととしている。

具体的には、若者の操縦資格保有者を倍増することを目標とし、平成26年度以降5年間にわたり地域ごとに取り組み、初年度は、若者が特に集中している首都圏を対象とすることとした。

周知広報の重点を学生に当て、全国の主要大学で、リーフレットの配布を行うこととするものである。

II 若者を対象とした小型船舶への理解促進活動

II-1 活動の概要

1. 活動の目的

本活動は、当センターが平成25年度に実施した「小型船操縦資格普及に向けた若年者の意識等に関する調査」結果をもとに、若年者に対する小型船操縦資格への参画を促進することを目的に実施したものである。

2. 活動の具体的内容

小型船舶操縦資格の関心を惹起するために、若年者向けのリーフレット（図1）、POP（図2）を作成し、首都圏に所在する13大学17キャンパス（表1）の学生食堂などに掲出した。

大学の選定基準は、首都圏に所在し、極力、学生数が多い男女共学の大学とした。

掲示期間は、2014年5月12日～6月11日とした。

リーフレット等の仕様は、下記の通り。

<リーフレット> サイズ：A4三折り（両面印刷） 配布枚数：12,250枚

<POP> サイズ：17cm×19cm 配布枚数：470個（各大学約30個）

用途：卓上に置きリーフレットを収納する。

図1 リーフレット
表面

免許取得者の声

友達と一緒に免許を取ってからマリンスポーツを楽しんでいます。来年はレンタルボートを借りて、夏はウェイクボード、冬は沖釣りを楽しみたいです。

30代女性

魚釣りが好きで、自分で船を運転して行きたくったから今回免許をとりました。早速魚釣りに行きます。

20代男性

高校の時から船の免許を取ろうと思っていましたが、なかなか機会に恵まれず、ようやく今回とりました。エンジンとか機械に触れることが好きなので、しばらく熱中しちゃうそうです。

20代男性

アンケート(5問程度)にご回答いただいた方から、抽選で図書券(2000円分)を50名様に贈呈。奮ってご応募ください!

応募期間 2014年5月12日(月)~6月11日(水)

応募方法
右のQRコードをスマートフォン等で読み取っていただき、アンケートにご回答ください。最後までご回答いただき、連絡先をご入力いただいた方の中から、抽選で図書券(2000円分)を50名様にプレゼントします。



※参加人数は1人1票です。 ※抽選者の発表は最速で5月25日、遅くとも6月11日までにいたします。



若い人に対する小型船の操縦資格普及を推進しています。

公益財団法人
海技資格協協力センター

詳しくはホームページをチェック QRコードで簡単アクセス

日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

LET'S ENJOY! MARINE LIFE STYLE

私も持っています 小型船の操縦資格

夏休みにはクルージングに行きたいな。

2014年度
ミス日本(海の部)
花岡 麻里名さん
(オシマ)

裏面

操縦免許とは (総トン数20トン未満の船舶を操縦するための免許)

総トン数20トン未満の船舶を「小型船舶」といい、これらを操縦するために必要な免許を「操縦免許」といいます。操縦免許には「一級」、「二級」、「特殊」の3区分があり、エンジンを装備している船(モーターボート等)を操縦するには「一級小型船舶操縦免許」または「二級小型船舶操縦免許」を、水上オートバイを操縦するには「特殊小型船舶操縦免許」を持つことが義務づけられています。また、二級には「湖川小出力限定」の区分があり、エンジン出力は15キロワット未満(約20馬力)とされています。

操縦免許の種類

免許	操縦できる区域	主な用途と条件
クルージングであの島まで操縦したい!	一級小型船舶操縦士 	エンジン付きの小型船舶が沿海区域の外側80海里(約150キロメートル)以遠を航行する場合には、六級海技士(機関)以上の資格者乗り組ませなければなりません。
近場で手軽に乗りたい!	二級小型船舶操縦士 	18歳未満の方は操縦できるボートの大きさが5トン未満に限定されます。(18歳に達すると、特に手続きしなくてもこの限定は解除され、限定の無い免許証となります。)
狙ったポイントに移動したい!	二級小型船舶操縦士(湖川小出力限定) 	総トン数が5トン未満、エンジンの出力15キロワット未満の船を操縦できます。
マリンスポーツを楽しみたい!	特殊小型船舶操縦士 	水上オートバイを操縦するために必要な免許証です。

操縦免許をとる

操縦免許の取得方法を決めましょう。

選べる取得方法は3つです。自分にあったものを選びましょう。

登録小型船舶教習所コース
登録小型船舶教習所で所定の学科や実技の教育を受け、修了試験を受けます。学科、実技共に、規定の課程を全て履修しなければなりません。修了試験に合格すると、国家試験が免除されます。

免許スクールコース
免許スクールの講習を受講し、国家試験を受験するコースです。免許スクールは試験合格に向けて、独自の内容や時間で講習を行います。講習日程や講習料はさまざまです。

個人で勉強
独学で勉強して国家試験を受ける方法です。学科試験はこの方法で可能ですが、実技試験は難しい面があります。実技試験について指導を受ける環境が必要なため、実技だけを免許スクールで受講する方が多いようです。

受験資格

年齢	視力	その他
一級小型船舶操縦士: 17歳9ヵ月以上 二級小型船舶操縦士: 15歳9ヵ月以上 特殊小型船舶操縦士(湖川小出力限定): 15歳9ヵ月以上 特殊小型船舶操縦士: 15歳9ヵ月以上	両眼共に0.5以上(矯正視力を含む)の方。ただし、一眼の視力が0.5に満たない方は、他眼の視力が0.5以上かつその眼の視野が左右150度以上であること。	所定の検査合格基準に達していること。※併色力に不安のある方、身体に障害がある方などは事前にお問い合わせください。

免許スクールや登録教習所へ問合せしましょう。

取得方法が決まったら、それぞれの窓口問合せましょう。詳しくはホームページをチェック、お近くの教習所と更新機関の検索はこちらから。

<http://www.kousin-e.or.jp/license/search.html>

免許の取得までの流れ

教習所で受講すれば2日(最短)で取得できます。

STEP 1

免許の取得方法を選ぶ

STEP 2

免許スクールや登録教習所へ問合せ

STEP 3

教習を受けて修了審査に合格する

図2 POP



表 1 対象大学一覧

	大学名	所在地	配布枚数	
			POP	リーフレット
1	神奈川大学	神奈川県	30	750
2	和光大学	東京都	30	750
3	千葉大学	千葉県	30	750
4	東京農業大学	東京都	30	750
5	創価大学	東京都	30	750
6	早稲田大学（文学部）	東京都	30	750
7	横浜国立大学	神奈川県	30	750
8	早稲田大学（理工学部）	東京都	30	750
9	拓殖大学	東京都	30	750
10	東京理科大学（神楽坂）	東京都	30	750
11	東京経済大学	東京都	30	750
12	東京理科大学（野田）	千葉県	30	750
13	大東文化大学	東京都	30	750
14	法政大学	東京都	30	750
15	早稲田大学（所沢）	埼玉県	30	750
16	流通経済大学（龍ヶ崎）	茨城県	10	500
17	流通経済大学（新松戸）	千葉県	10	500
合計			470	12,250

Ⅱ－２ 活動の状況

大学ごとの掲示状況とリーフレットの持ち帰り枚数を、以下にまとめる。

1. 神奈川大学

所在地：神奈川県横浜市神奈川区 / 学生数：14,655人（男子10,581人、女子4,074人）

POP設置数：30個 / リーフレット設置数：750枚

リーフレット持ち帰り枚数：約500枚

図6 設置状況



大学の外観



POP・リーフレットの設置状況
(学食)



POP・リーフレットの設置状況
(学食)

2. 和光大学

所在地：東京都町田市 / 学生数：11,284人（男子4,883人、女子6,401人）

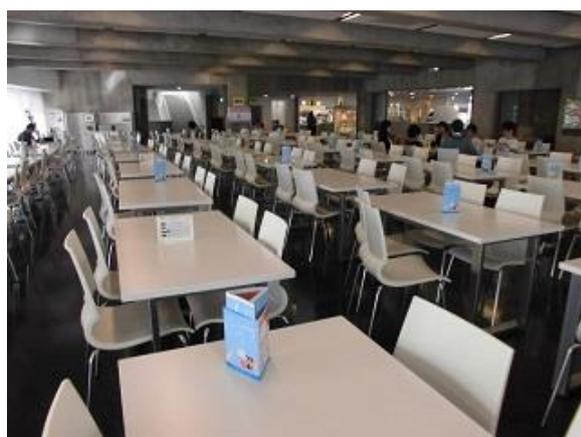
POP設置数：30個 / リーフレット設置数：750枚

リーフレット持ち帰り枚数：約400枚

図7 設置状況



大学の外観



POP・リーフレットの設置状況
(学食)



POP・リーフレットの設置状況
(学食)

3. 千葉大学

所在地：千葉県千葉市稲毛区 / 学生数：10,832人（男子6,500人、女子4,332人）

POP設置数：30個 / リーフレット設置数：750枚

リーフレット持ち帰り枚数：約490枚

図8 設置状況



大学の外観



POP・リーフレットの設置状況
(学食)



POP・リーフレットの設置状況
(学食)

4. 東京農業大学

所在地：東京都世田谷区 / 学生数：7,863人（男子5,111人、女子2,752人）

POP設置数：30個 / リーフレット設置数：750枚

リーフレット持ち帰り枚数：約470枚

図9 設置状況



大学の外観



POP・リーフレットの設置状況
(学食)



POP・リーフレットの設置状況
(学食)

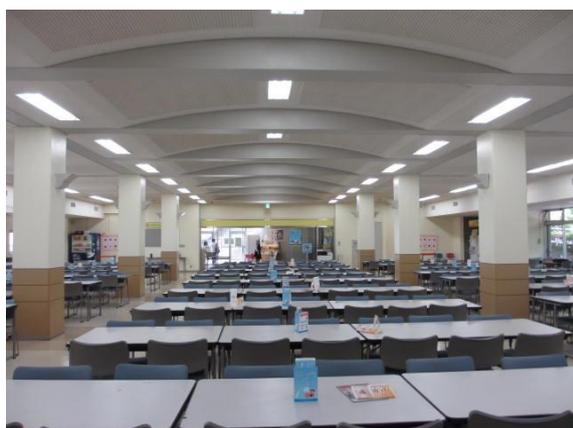
5. 創価大学

所在地：東京都八王子市 / 学生数：7,787人（男子4,255人、女子3,532人）

POP設置数：30個 / リーフレット設置数：750枚

リーフレット持ち帰り枚数：約550枚

図10 設置状況



POP・リーフレットの設置状況
(学食)



POP・リーフレットの設置状況
(学食)

6. 早稲田大学（文学部）

所在地：東京都新宿区 / 学生数：7,743人（男子3,603人、女子4,140人）

POP設置数：30個 / リーフレット設置数：750枚

リーフレット持ち帰り枚数：約520枚

図 1 1 設置状況



大学の外観



POP・リーフレットの設置状況
(学食)



POP・リーフレットの設置状況
(学食)

7. 横浜国立大学

所在地：神奈川県横浜市保土ヶ谷区 / 学生数：7,610人（男子5,537人、女子2,073人）

POP設置数：30個 / リーフレット設置数：750枚

リーフレット持ち帰り枚数：約420枚

図12 設置状況



大学の外観



POP・リーフレットの設置状況
(学食)



POP・リーフレットの設置状況
(学食)

8. 早稲田大学（理工学部）

所在地：東京都新宿区 / 学生数：7,495人（男子6,339人、女子1,156人）

POP設置数：30個 / リーフレット設置数：750枚

リーフレット持ち帰り枚数：約580枚

図13 設置状況



大学の外観



POP・リーフレットの設置状況
(学食)



POP・リーフレットの設置状況
(学食)

9. 拓殖大学

所在地：東京都八王子市 / 学生数：7,133人（男子5,214人、女子1,919人）

POP設置数：30個 / リーフレット設置数：750枚

リーフレット持ち帰り枚数：約480枚

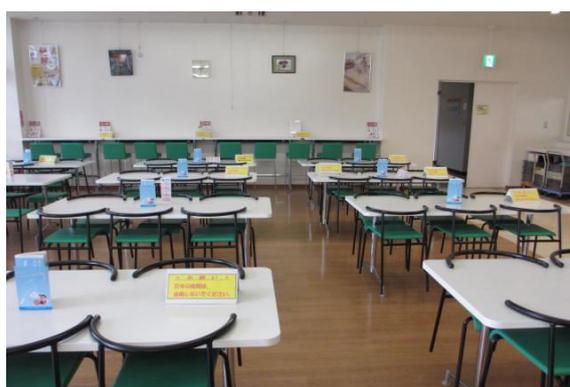
図14 設置状況



大学の外観



POP・リーフレットの設置状況
(学食)



POP・リーフレットの設置状況
(学食)

10. 東京理科大学（神楽坂）

所在地：東京都新宿区 ／ 学生数：6,886人（男子5,578人、女子1,308人）

POP設置数：30個 ／ リーフレット設置数：750枚

リーフレット持ち帰り枚数：約570枚

図15 設置状況



大学の外観



POP・リーフレットの設置状況
(学食)



POP・リーフレットの設置状況
(学食)

11. 東京経済大学

所在地：東京都国分寺市 / 学生数：6,481人（男子4,711人、女子1,770人）

POP設置数：30個 / リーフレット設置数：750枚

リーフレット持ち帰り枚数：約600枚

図16 設置状況



大学の外観



POP・リーフレットの設置状況
(学食)



POP・リーフレットの設置状況
(学食)

12. 東京理科大学（野田）

所在地：千葉県野田市 ／ 学生数：5,910人（男子4,775人、女子1,135人）

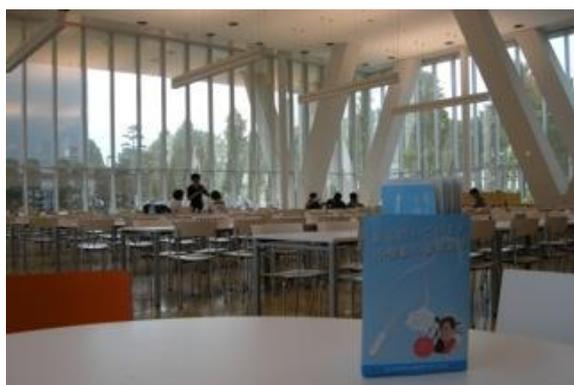
POP設置数：30個 ／ リーフレット設置数：750枚

リーフレット持ち帰り枚数：約540枚

図17 設置状況



大学の外観



POP・リーフレットの設置状況
(学食)



POP・リーフレットの設置状況
(学食)

13. 大東文化大学

所在地：東京都板橋区 ／ 学生数：5,395人（男子3,615人、女子1,780人）

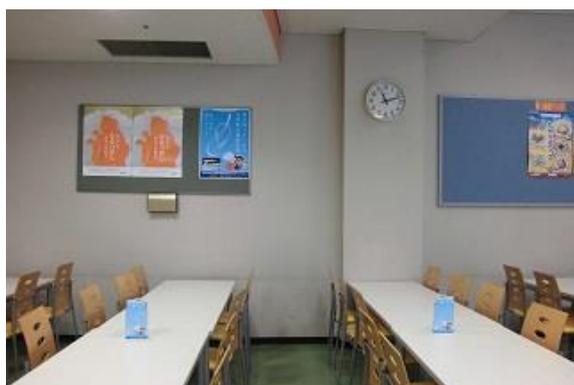
POP設置数：30個 ／ リーフレット設置数：750枚

リーフレット持ち帰り枚数：約530枚

図18 設置状況



大学の外観



POP・リーフレットの設置状況
(学食)



POP・リーフレットの設置状況
(学食)

14. 法政大学

所在地：東京都小金井市 / 学生数：5,161人（男子4,271人、女子890人）

POP設置数：30個 / リーフレット設置数：750枚

リーフレット持ち帰り枚数：約510枚

図19 設置状況



大学の外観



POP・リーフレットの設置状況
(学食)



POP・リーフレットの設置状況
(学食)

15. 早稲田大学（所沢）

所在地：埼玉県所沢市 / 学生数：4,716人（男子2,985人、女子1,731人）

POP設置数：30個 / リーフレット設置数：750枚

リーフレット持ち帰り枚数：約600枚

図20 設置状況



大学の外観



POP・リーフレットの設置状況
（学食）



POP・リーフレットの設置状況
（学食）

16. 流通経済大学（龍ヶ崎）

所在地：茨城県龍ヶ崎市 / 学生数：約2,500人

POP設置数：10個 / リーフレット設置数：500枚

リーフレット持ち帰り枚数：約300枚

図 2 1 設置状況



大学の外観



POP・リーフレットの設置状況
(事務局)

17. 流通経済大学（新松戸）

所在地：千葉県松戸市 / 学生数：約3,000人

POP設置数：10個 / リーフレット設置数：500枚

リーフレット持ち帰り枚数：約320枚

図 2 2 設置状況



大学の外観



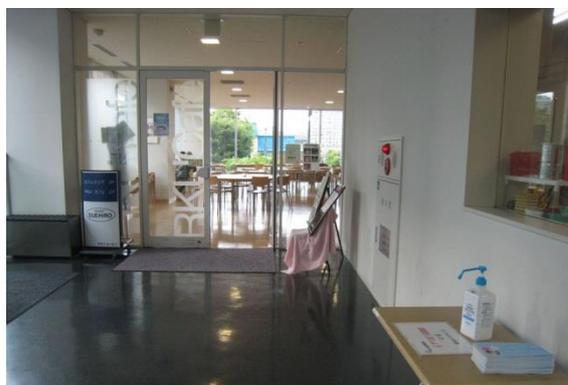
POP・リーフレットの設置状況
(事務局)



POP・リーフレットの設置状況
(就職支援センター)



POP・リーフレットの設置状況
(学食)



POP・リーフレットの設置状況
(カフェテリア)

Ⅲ 若者を対象とした小型船舶への理解促進活動の今後の方向性

Ⅲ－１．今回の活動の成果

今回の活動を通じて、以下のような成果が得られた。

- ・ 広告媒体であるリーフレットの掲出（12,250枚）により、その持ち帰り枚数は約8,380枚（68.4%）であった。
- ・ その結果、多くの大学生が受動的に小型船舶操縦資格の情報に触れるチャンスとなり、小型船舶操縦資格について周知を図ることができ、一定の啓発につながったと考えられる。
- ・ リーフレットには、小型船舶操縦資格の魅力や短期間で取得できることなど、資格取得に関する具体的な情報を記載しており、これらを閲覧した学生にとっては、資格取得のハードルが低くなったと考えられる。
- ・ 今回の首都圏13大学17キャンパスへの活動を通じて、広報活動のノウハウを蓄積することができた。さらに、広報活動においての課題や検討材料も得ることができたため、今回の活動が今後の活動をより効果的なものとする契機として評価できよう。

Ⅲ－２．今後の活動の方向性

平成25年8月の「小型船操縦資格普及に向けた若年者の意識等に関する調査報告書」によると、若年者層に小型船操縦資格を普及させていくには、若年者の小型船操縦資格に対する認知度、関心度及び意欲度をそれぞれ高めていくことが欠かせないものとなっている。

中でも、認知度を高めるためには、小型船操縦資格の存在とある程度の内容をできるだけ多くの若年者に知ってもらうことが必要であり、その内容を知れば知るほど関心度は高まっている。このように認知度は関心度に結びつくものであり、認知度の向上は小型船操縦資格の取得増につながっていく。

したがって、不特定多数の若年者に対する小型船操縦資格の周知広報活動が欠かせないが、従来、この分野での周知広報活動はほとんど行われてこなかったことから、今後は、この分野の普及活動に重点をおくことが重要となる。

今回実施した大学でのリーフレット・POPという広報活動は、若年者(大学生)の小型船操縦資格への参入を促進するための周知に、一定の効果があつたと考えられる。今後もこの広報活動を継続的に実施することが、若年者(大学生)の小型船操縦資格の取得者数の向上につながるものと考えられる。

今回の広報活動を通じて得られた成果を踏まえ、更に次年度以降も引き続き広報活動を実施していくことが重要である。具体的には、次のような取り組みが必要と考えられる。

(1) 広報活動の内容

今回の広報活動（大学でのリーフレット・POPの掲載）を引き続き実施する。
今後は、小型船舶の種類や免許の解説だけでなく、ボートの楽しさを伝えるような内容や、安価に短期間で取得できること、身近で楽しむことができることなど、新たに以下の記述内容をリーフレットに加えることが望ましい。

- ・免許取得にかかる費用の概算（「〇円～〇円程度」と目安を示すことで、自動車免許より安価で取得できることなどをアピールする）
- ・免許取得に要する期間（「最短2日で取得可能」など短期間で取得できることをアピールする）
- ・試験（学科・実技）内容
- ・小型船舶の購入費及びレンタル料 等

(2) 広報活動の範囲と実施場所

広報活動の範囲は、今回実施した大学構内に加えて、大学構内以外の主要駅又は大学所在地の最寄り駅の構内、飲食店（居酒屋やファミリーレストランなど）、さらには鉄道の中吊り広告などへのポスター・リーフレットの掲出等を順次実施することが望ましい。

広報活動の実施場所は、今回実施した首都圏に限らず、全国を4つのエリア（関西圏・中部圏・西日本・東日本）に区分し、大阪府や京都府、兵庫県を有する関西圏や、愛知県のある中部圏など大学生数が多いエリアから順次拡大して実施することが望ましい。

年次計画	大学構内での普及活動	大学構内以外での普及活動
平成27年度	関西圏	首都圏
平成28年度	中部圏	関西圏
平成29年度	中国・四国・九州	中部圏
平成30年度	東北・北海道	東北・北海道・中国・四国・九州のうち、重点地区

(参考) 都道府県別大学生数上位20県

単位：人、%

		大学生数	割合			大学生数	割合
1位	東 京	730,825	25.4	11位	広 島	60,479	2.1
2位	大 阪	226,725	7.9	12位	宮 城	57,782	2.0
3位	神奈川	203,134	7.1	13位	岡 山	41,482	1.4
4位	愛 知	190,168	6.6	14位	茨 城	38,629	1.3
5位	京 都	162,108	5.6	15位	滋 賀	37,455	1.3
6位	兵 庫	126,526	4.4	16位	静 岡	35,111	1.2
7位	埼 玉	124,016	4.3	17位	新 潟	30,588	1.1
8位	福 岡	121,756	4.2	18位	群 馬	29,247	1.0
9位	千 葉	117,337	4.1	19位	石 川	29,016	1.0
10位	北海道	90,351	3.1	20位	熊 本	28,932	1.0
					その他	394,467	13.7
					合 計	2,876,134	72.8

注：平成24年5月1日現在

出所：統計局ホームページ 日本の統計 <http://www.stat.go.jp/data/nihon/22.htm>

(3) 広報活動の実施時期

今回の普及活動は、夏のレジャーシーズンに入る前までに行うことがより効果的であるという考えから、5月中旬～6月初旬の1ヶ月間実施した。しかし、次年度以降は、必ずしも季節感にとらわれず、「学園祭」等のイベントが行われる時期も考慮に入れて実施時期を設定することが望ましい。

以上